

1. Wyse ThinOS 上で認識される周辺機器と USB リダイレクション機能について

Wyse ThinOS には、一般的に PC で利用される汎用的なドライバが格納されています。これにより、ローカルドライバをインストールすることなく各種デバイスをローカルで認識することが可能となります。本汎用ドライバは、Windows OS などの一般的な OS で利用される汎用ドライバを用いて、Wyse ThinOS 用に作り込まれています。

注意： 汎用ドライバは、Wyse ThinOS で開発されたものであり、Windows OS の汎用ドライバとの互換性を保証するものではありません。各種周辺機器を利用するためには、必ず事前の検証を実施してください。Wyse 社での基本テスト済みデバイスに関しては、ReadMe に記載してあります。

画面転送型シンクライアントシステムでは、プロトコル内(ICA/RDP)に、様々な方法で USB 周辺機器をホストシステム上で認識する機能が搭載されています。USB の各種認識方法により、システム導入時に、要件にあった USB 周辺機器の認識が行えるようにしてください。

表. Wyse ThinOS 搭載の汎用ドライバと動作について

ローカルドライバ	TCX/HDX 利用時*	備考
HID	ローカル (Wyse ThinOS)	キーボード、マウス、バーコードリーダー等の一般的なデバイスで利用されるドライバです。
Generic Audio Driver	ローカル (Wyse ThinOS)	スピーカー、ヘッドセット等のデバイスで利用されるドライバです。
Universal Video Driver	リモート (ホストシステム)	Web カメラ等のデバイスで利用されるドライバです。
USB Storage	リモート (ホストシステム)	USB メモリスティック、HDD などで利用されるドライバです。
CCID	ローカル (Wyse ThinOS)	スマートカードリーダーなどで利用されるドライバです。

* TCX/HDX の USB リダイレクト機能を利用した際、該当 USB ドライバ/機器がデフォルトで認識される場所を示します。「ローカル」は、TCX/HDX USB リダイレクト機能を有効にした場合でも、デフォルトで、Wyse ThinOS ローカル上で認識されることを意味します。「リモート」は、TCX/HDX USB リダイレクト機能を有効にした場合、ホストシステム上に USB がリダイレクトすることを意味します。

導入するシステム環境においては、特定の USB デバイスに対して、TCX/HDX の USB リダイレクト機能を強制的に利用したい、または利用したくない場合が存在します。これらの各 USB デバイスの動作に関しては、設定 INI ファイルの設定により、USB デバイスの認識方法を決定することができます。下記表は、設定 INI ファイルのパラメータ説明です。

表. USB リダイレクト機能に対する USB 動作設定

パラメータ	説明
Device=vusb [ForceRedirect=DeviceID] [ForceLocal=DeviceID]	Device=vusb を設定することにより、USB リダイレクション機能で利用する USB 周辺機器の動作を決定します。 ForceRedirect: 指定した USB デバイスは、USB リダイレクションを利用した仕組みでホストシステムに認識されます。 ForceLocal: 指定したデバイスは、Wyse ThinOS のローカルデバイスとして認識されます。指定された USB デバイスは、TCX/HDX の USB リダイレクションによる仕組みではリダイレクトされません。 設定例: Device=vusb ForceRedirect=0x04f2,0x0112,0x03,0x01,0x01 ID の設定順は、下記となります。 <Vendor ID>,<Product ID>,<Class>,<SubClass>,<Protocol> 各種 ID 情報は、Wyse ThinOS のローカルイベント情報(システムログ)もしくは、Windows OS 内のデバイスマネージャなどで調査することが可能です。